

司式 熊田雄二牧師
奏楽 森永美保姉妹

前 奏

開 会 招 詞

* 賛 美 歌 22:1 神の御子はこよいしも

神の御子は今宵しも ベツレヘムに生まれたもう いぎや友よもろともに
急ぎ行きて拝まずや 急ぎ行きて拝まずや アーメン

* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈禱書3 罪の告白②

主なる神よ、あなたの御前に背きの罪を告白します。わたしは聖なる戒めに従わず、失われた羊のように迷い出て、思いと言葉と行いにおいて罪を犯しました。しなければならぬことをせず、してはならぬことをして、自分の身に、あなたの怒りと裁きを招きました。憐れみに富んでおられる父よ、罪と過ちを悲しむわたしに憐れみを注いでください。神の独り子である救い主の名によって、わたしを赦してください。聖霊の恵みによって、わたしを新しく生まれ変わらせてください。願わくは今から後、み栄えのために生きる者とならせてください。主イエス・キリストの御名によって。

アーメン。(詩編32、イザヤ53、ローマ7)

罪の赦しの宣言

十 戒 祈禱書4

- あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
- あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
- あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
- 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
- あなたの父と母を敬え。
- あなたは殺してはならない。
- あなたは姦淫してはならない。
- あなたは盗んではならない。
- あなたは隣人について偽証してはならない。
- あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。(出エジプト20、申命記5)

* 賛 美 歌 22:2 神に栄えあれかしと

神に栄えあれかしと み使いらの声すなり 地なる人もたたえつつ
急ぎ行きて拝まずや 急ぎ行きて拝まずや アーメン

公 同 の 祈 禱 祈禱書11 降誕節第四主日 誕生

聖なる神さま、あなたを賛美します。あなたは、神の独り子を人として生まれさせ、彼を信じる

ものが 罪から救われ、神の子となる力をお与えくださいました。救い主がお生まれになったとき、あなたは、羊飼いや博士たちが、キリストを礼拝できるように導かれました。そのように、あなたの御言葉と聖霊は、あらゆる時代を通じて、あらゆる所で、キリストを礼拝できるように導いてくださることを感謝します。今わたしたちは、キリストを礼拝する、この教会へと導かれました。神の子となるように招いてくださった、あなたの御心を、豊かにいただくことができますように。

(ヨハネ1、ルカ2、マタイ2)

献 金 (黒) 教会活動 (赤) 神戸改革派神学校 70

きよしこの夜 星は光り 救いの御子は まぶねの中に眠りたもう いと安く
アーメン

《子どもプログラム「イエスさまのおたんじょう」担当：門脇光生兄弟・門脇陽子長老》

聖書朗読 ルカによる福音書2章8～12節 (新約聖書103頁)

説教・祈祷 「クリスマスの色」 熊田雄二牧師

* 賛美歌 22:3 とこしなえの御言葉は

とこしなえの御言葉は 今ぞ 人となりたもう 待ち望みし主の民よ

おのがさちを祝わずや おのがさちを祝わずや アーメン

* 主の祈り 祈祷書1

天にまします我らの父よ

願わくは御名をあがめさせたまえ

御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ

我らの日用の糧を 今日も与えたまえ

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく 我らの罪をも赦したまえ

我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ

国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

* 頌 栄 18:1 牧人羊を

牧人羊を守るその宵 妙なる御歌は あめより響きぬ

喜びたたえよ 主イエスは生まれぬ アーメン

* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告 古澤純一長老 (司会・受付 次週：門脇陽子長老)

本日 受付 1階：那珂信之・星野房子執事 2階：長尾牧執事 / 動画：森川莞太兄弟 録音：番場駿也兄弟

次週 受付 1階：森永美保・加藤良明執事 2階：若月学執事 / 動画：門脇光生兄弟 録音：森永翔馬兄弟

※ 2グループ制により、長老も1階と2階に一名ずつ加わります

I クリスマスの色

みなさんにとって、クリスマスは何色でしょうか。「ホワイトクリスマス」という歌があるので、雪景色を思う方もあるでしょう。歌なら「もみの木、もみの木」という歌があるので、濃い緑を思う方もあるでしょう。子供さんびかには「ひいらぎ飾ろう、ラララララッラ、ラッララー」という歌もあります。

でも、クリスマスの飾りつけは、赤い色が目立ちます。ポインセチア、クリスマスツリーの飾り、サンタクロースの服、その他、町中、赤い色が目立ちます。今年はクリスマスツリーを教会の入口に飾っていませんが、玄関から入って受付の所に、赤いリースが飾ってあります。

II クリスマスにとってクリスマスの色は

通常なら、毎月第一日曜日の礼拝では、パンとぶどう酒の儀式を行なっています。パンはキリストの体、ぶどう酒はキリストの血を表します。キリストの体が十字架という死刑によって裂かれたこと、キリストの血が十字架で流されたことを表します。すると、クリスマスはキリストの誕生を祝うのですが、クリスマス物語の中には、やがてこの赤ちゃんは苦しみを受けることになるというしるしがあります。

それは天使たちが羊飼いたちに告げた「飼い葉おけに寝ている赤ちゃん」というしるしです。「あなたがたは、幼子が布にくるまって飼い葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、あなたがたに与えられたしるしである。」というしるしです。それは苦しみを受けるしるし、生まれた赤ちゃんは十字架に向かう生涯を歩むしるしです。

しかし、クリスマスの赤い色をキリストの血にまでとは考え過ぎかもしれません。実際には、クリスマスに赤い色が目立つのは、寒い冬と関係がありそうです。本来、聖書にはないクリスマスの行事が、2000年の間に世界各地の宗教行事から入りこんできました。本来、聖書にはないものを否定すると、クリスマス自体を12月には行えません。

12月25日は北ヨーロッパのゲルマン民族の冬至のお祭りでした。太陽に照らされる昼の時間がいちばん短い日から長い日に向かって切り変わる。夜が昼に切り替わる。闇が光に切り替わる。その切り替わりが、死んで復活することになる、キリストの誕生に当てはめられたものです。

北ヨーロッパのゲルマン民族の国にフィンランドという国があります。サンタクロースがトナカイに乗ってやって来るといのは、フィンランドから始まったと言われます。確かに寒そうな雪景色が似合う北ヨーロッパでは、サンタクロースが赤い暖かそうな服を着ています。

ところが今や、クリスマスは熱帯の国や南半球の国でも行われます。南半球では、12月は夏です。それでも、北ヨーロッパ発祥のサンタクロースやトナカイは、南米やオーストラリアにもやって来るといのです。雪が降らなくても白い飾り付けはありますし、針葉樹がなくても常夏の緑があります。それでも赤い色が目立ちます。暖かいというよりは、暑そうなクリスマスですのに。

Ⅲ 心の暖かさ

そこで、クリスマスになると赤い色が目立つのは、心の暖かさに関係があると思った方がためになりそうです。天使はマリアの夫ヨセフに告げました。

「ダビデの子ヨセフよ、心配しないでマリアを妻として迎えるがよい。その胎内に宿っているものは聖霊によるのである。彼女は男の子を産むであろう。その名イエスと名付けなさい。彼はおのれの民をそのもろもろの罪から救うからである。」

「その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民をもろもろの罪から救う」と、天使は告げました。イエス・キリスト誕生の次第は、もう一つの名前を告げています。「インマヌエル」です（ヘブライ語。イザヤ7:14）。それは、「神は我々と共におられる」という暖かいニュースでした。

神は高い所から見降ろして罪人に同情することはしないで、神の御子が人となるという仕方で救いを与えてくださいました。だから、私たちは、私のすぐそばまで降りて来て私に寄り添ってくださる神を思います。罪人に寄り添ってくださるキリストに感謝します。

また、天使は羊飼いたちに告げました。「見よ、すべての民に与えられる大きな喜びをあなたがたに伝える。きょうダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主なるキリストである。あなたがたは、幼子が布にくるまって飼い葉おけの中に寝かしてあるのを見るであろう。それが、あなたがたに与えられたしるしである。」

当時、羊飼いたちは、身分の低い人たちでした。しかし、「飼い葉おけの中に寝かしてある赤ちゃん」なら、自分たちの生活現場で救い主にお会いできます。やはり、神は高い所から見降ろして同情することはしないで、低く降って来られました。だから、キリストの誕生を「降誕」と言います。降りて誕生するという意味です。

それも、身分の低い人たちでも会えるという仕方で降って来られました。「ダビデの子」として、お城に住む王子様として生まれたら、羊飼いたちはお会いできないでしょう。家畜小屋の飼い葉おけなら会えます。ダビデ王も、ベツレヘムではもともと羊飼いの少年でした。だから、私たちは、私の所まで降りて来て寄り添ってくださる神を思うのです。

今年も数々の災害がありました。東日本大震災から10年になりますが、教会や信徒がボランティア活動に取り組んでいます。ボランティア精神は、被災者に寄り添うことから始まりますが、クリスチャンの場合、まず私に寄り添って下さる神、キリストから始まります。

だから、クリスマスの色が暖かい感じがするのは、キリストの誕生にふさわしいと言えるでしょう。クリスマスの色は何色でもいいですが、暖かい色です。心が温かくなる色です。まず神が私たちを愛し暖めてくださいましたから、私たちも隣人を愛し暖めてあげましょう。